

by us

渡辺 鈴

## 作品概要

同じ女子校に通う仲良し六人組は毎週金曜日に塾の休憩室でたわいもない会話を繰り広げる、ごく普通の毎日を過ごしていた。

だがある日、その中の一人、薫がストーカー被害にあっていていることを告白する。ストーカーが三人しかいない塾教師の中の誰かだということが分かった時、六人は三人の中でただ一人の男性教師を犯人と決めつけ追い詰めてしまう。しかし本当のストーカーは女性教師だったことが判明する。主人公の葵は自分の偏見の目を実感し激しく後悔する。

脚本の前半部分は、主人公の葵がストーカーは男性だと決めつけた自分自身の偏見を後悔し、「もしこのような世界だったら」と作り上げたジェンダー的な偏見の無い理想の世界。(前半部分では登場人物全員の性別が不詳)

独白は、理想の世界でストーカー問題を正しく解決するも、偏見は自分一人で無くせるものではないということに改めて気が付くという内容になっている。

独白を挟んだ後半部分が、現実に起こったこと。

実際の時系列的に言えば、後半部分→前半部分→独白

題名は

- ・私たちによる青春物語
  - ・私たち全員が作り出す偏見
  - ・bias(偏見)
- というトリプルミーニングになっています。

by us

登場人物

葵

薰

千

音

秋

汐渚

優希

(塾講師)

男(①)  
女(②)

女

女

男

①

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

女

男

①

男

②

女

1

【照明明転。音響。ヒールの足音。】  
塾の舞台セリフ。

全員が閉幕時と同じ立ち位置にいる。葵が薰、千秋を定位にセットする。下手はけに優希と渚を連れ行く。汐音をドア付近にセットする。

【音響止める。照明転換。】

2

：神に！（葵は呆れた感じで会話をやめる）

うん。

え？あの…エツド？  
いやいや（笑）。ガアツド。

発音どうでもいいから。前言撤回！

(被せて) それじやない。その夢。諦めるのは今! 今

次音の言葉感動したのに！感動を返せ！

あんなこと言つたのなんかめつちや恥ずかしいじやん。

ねえ葵ーどう思う?

千秋は眞面目に考へてるよ！  
はあ…。もう手に負えない。どうにかして薰

よくない? 申? ダメ?

それは……やめといたほうがいいね。

(被せて)だつて神大変だよ?

え？ 黒木：「」。河井：「」。中野：「」。高橋：「」。佐藤：「」。

前だけ頼つてくるのにもムカついたやいけないよ。

経営者の口ぶり

うーん：あー働いてる人ってみんなどうやつて仕事

千秋 汐音  
千秋 汐音  
千秋 汐音  
千秋 汐音  
千秋 汐音  
千秋、その夢書けばいんじやない?  
え?ほ、ほんとに?!ほんとにそう思うの汐音!  
う、うん。まだ高校生だし?諦めるのは今じやない。  
汐音:!  
せつかくだし教えてよ。千秋の夢。  
千秋ね、ずつとなりたかつたんだ。:この世界の、

2

決めたんだろー。  
先生とかに聞いてみればいいんじゃない？

あ、この前聞いたわ。

バカ。

そんなことはないって。本当に。え？マジで？じゃあそうなのかな…。いや、冗談かよ！わかりにく！

葵 千秋 葵 千秋

女①先生は、この塾の先生がつくれれるバツチあるじ  
やん？あれの、緑色のピカピカつてしてるところが  
かつこいいから、バツチ付けたくて入ったんだって。  
ピンポイントだな。

まあ確かにあの緑の光沢はなかなかいいよね。  
でも正直女①先生よりも、男①先生の方が渋くてか  
っこいいからバツチ似合ってるよね。  
私は女②先生がキリつとしててかつこいいから似合  
うと思うな。

気が合いませんな。葵さん意見をお願いします。  
三人しかいない先生でランク付けしたところで  
(被せて)つまんないやつー。

：そもそも似合ってるとか気にしてることないし。  
つまんないやつー。  
はー？(薰に)そんなの気にしたことある？：薰？  
ん？ごめん。何？

わざわざ聞くような話じやないよ。

聞くような話！

それより薰なんかぼーっと…。  
(被せて)それより？！  
何でそんなこだわってるの？  
だつて！

廊下から歩いてくる渚、優希の声が聞こえてくる。

渚、優希扉から入る。

なに一人で話してるの？

は？優希と話してたけど？

渚の声しか聞こえなかつたよね。

僕の声が小さかつたから…。

多分渚の声が大きすぎるんだと思う。  
うるせえなー。

渚がね。

え！千秋が真面目に勉強してる！嘘だろ！  
：は？千秋が勉強するわけ無いじやん。

何しに塾来てるの？

じやあ何書いてるの？(除きこむ)進路調査か。

渚はもう書いた？

俺たちのクラスも今日配られたよな。

うん。

じゃあ一緒に悩もう！

僕は…  
うん。

もう決まってるの？

ぎやああ！裏切者おおお！  
一緒に悩む約束をした覚えは無いけど。

ド正論。

優希は何やりたいの？



つちかって言われたら絶対仕事を優先すると思う。

沵音

葵

くないんだよね。

家事代行とか：頼めばいいんじやないかな？

仕事は? 何やるの?

とおせ医者とかにたるんでしょ？

それはまあ…なれたらいいけど(笑)。

思つてない。

間違いないね。

じやあ葵に将来弁護士になる自信があると思う人

はに  
。レ

はーい。  
(優希、夕音)

く：薰？どうした？

な、何の話？

薰今日ボーッとしてない？起きてる？

大丈夫？（笑）：あれ？ 何の話だつたつけ？

千秋

あー！千秋も！この前コーラかと思つて飲んだのが墨汁だつた時より驚いた！

(被せて) コーラの話になつてゐるから！

汐音は何がやりたいの？

汐音

音楽。(葵・薰・千秋・渚・優希)

汐音

何その反応？

汐音

そういう感じね。

汐音

え？何でこんな反応微妙なの？応援してよ。

汐音

いや汐音が音楽やつてるところ見たことないし。

汐音

え？ そうだつけ？

汐音

どんな感じかわからないのに応援するのも…ちょっと

汐音

とね。それはまあそうね。

汐音

何だけ？ バンド？

渚

あー： バンドはもう解散した。

千秋

うーん…一番の原因是私のボーカル兼バイオリンに無理があつたことかな。

渚

ボーカル兼バイオリン？！え…他の楽器は何なの？

汐音

三味線とドラム。まあ要するに音楽の方向性の違いつつやつ。

千秋

方向性の違いで解散するバンド多いよねー。

渚

うんそりだねだけど汐音のそれとはなんか違う！

汐音

何で組むときに気づかなかつたの？

千秋

最初は面白いと思つたんだよ。

渚

もう一人でやつていくの？

そうだね。みんなでやるにしてもオーケストラかな。

汐音

バイオリンだしね。

そう。で、いつか弾きたいんだ。ストラデュバリュウス。

ん？ストラディバリウス？

そうそう。ストラドバルウス。

そんなに噛む？

いや言えるから。ストラレバフ！

もう言わなくていいよ。

いや、あ汐音はもう就職も進学もしないの？

音大？受験するの？

当たり前じやん！ 実技試験もあるから毎日練習してる。

でもまあ好きだし。自分で決めたからね。

大変だね。

バイオリンそんなにちやんとやつてたんだ。汐音は仲間だと思ったのに…。

いえーい。

まあ提出は来週なんだろう？ ゆっくり考えればいいよ。

え？ほんと？

そうだね。決まらなかつたらもう…出家する。

少し神に近づこうとしてるじやん。

ちょっとと待つて優希。なんか臉にゴミついてる。

え？ほんと？

取るからじつとしてて…はい。

ん？

(鏡で顔を確認し、葵が手に持つてゴミを見る) そ

れ、アイテープなんだけど。

え？(気まずい沈黙)

渚 何でゴミだと思うんだよー。（優希以外は笑ってい

何

をかは合ひやのやうにせやる

優希 葵 片目：一重になつたんだけど？  
（笑いを堪えて下に向いている）ごめん。

葵 優希 ちやんとこっち見て！  
(笑いを抑えて顔をゆっくり上げて優希を見る)

【葵に合わせて音響。風 LOVE SO SWEET】

千秋（慌てて携帯を触る）

千秋 汐音 千秋

沙音 気まずい空気が一気

千秋

諸 汐音  
やばくない?  
やばかつた。

え？ これなんでもいけるのかな？

（被せて）なんかある？ 気まずい瞬間。

諸  
音

優希え？今？

千秋 沙音

汐音、渚それぞれ上手端、下手端に移動し、ばつた  
り会つたところで、道を譲り合つて逆にフェイント

2 人 祚 汐 音 祚 汐 音

(気まずくて顔を見合わせて苦笑いで会釈)

【甜蜜。愛 LOVE SO SWEET】

いけるな！

渚音 いけるな！

（被せて）カラオケで熱唱してると同時に店員が入つ  
る（途中）

葵。 てくるやつは？

(被せて) いいね！それやろう！

千秋

夕音熱唱して踊りだしたヒーローで渚が入って来る

卷之三

失礼致します  
(気づかずに盛り上がつてたら渚と目が合う。)あ...  
あ...ボテト...。

【甜蜜。愛 LOVE SO SWEET】

渚  
優希

(優希以外爆笑) 面白過ぎる！腹いてえ！  
ねえ。そろそろ葵が僕のアイテープを剥がした話していい？

あの伝説の胸キュンシーンね(笑)  
ねえふざけないで。

ごめんて。  
(ちゃんと謝る)ほんとごめんね。

渚  
優希

あの伝説の胸キュンシーンね(笑)  
ねえふざけないで。

ごめんて。  
(ちゃんと謝る)ほんとごめんね。

千秋  
薰

忘れてた。ちょっと電話出でくるね。(部屋を出て行く)  
舞台上に葵、薰、汐音、渚が出る。

行ってらっしゃい。

渚  
優希

あの伝説の胸キュンシーンね(笑)  
ねえふざけないで。

ごめんて。  
(ちゃんと謝る)ほんとごめんね。

千秋  
優希

早！  
ちゃんと謝つてくれたから許す。けど…僕片目一重  
で過ごせばいいの？

あ、これ私のアイチ貸すわ。

千秋  
優希

こつちのタイプ普段あんまり使わないから…。  
じゃあ私がやつてあげる。鏡あるとこ行こ。(部屋を

千秋  
優希

ありがと。葵はメイクをもつと勉強しろよ。(優希部  
屋を出て行く。)

千秋  
優希

そうする。ごめんね(笑)。:(上の空な薰に気が付  
く)薰？またぼーっとしてた？

ああ…ごめん(笑)

千秋  
優希

体調悪いか？  
ううん！ほんとに大丈夫だから。ごめん…。

それならいいけど…。

千秋  
薰

元気出して。はい、チヨコあげる。(チヨコを渡す)

あ、ありがとう。

千秋  
渚

ううん！ほんとに大丈夫だから。ごめん…。

それならいいけど…。

千秋  
薰

ううん！ほんとに大丈夫だから。ごめん…。

それならいいけど…。

◎

千秋  
薰

忘れてた。ちょっと電話出でくるね。(部屋を出て行く)  
舞台上に葵、薰、汐音、渚が出る。

行ってらっしゃい。

】

音響終わる。照明明転

一週間後。優希の誕生日をみんなでお祝いするバーに  
に。その打ち合わせをしていく。

】

音響終わる。照明暗転

8

いいよ。何？

なんか熱い。じゃあお菓子は、命ね。

プレゼントは：薰好きな言葉は？

言葉？うーん…幸せかな。

プレゼントは幸せね。あと：サプライズ開始の合図

も決めなきや。

汐音！なんかテキトーに思いついたこと言つて。

ん…：ダンス。

サプライズ開始の合図はダンス。

あ、千秋から盛り上がってるから大丈夫！って来た

よ。

本当かな？でももう来ていいよって言つて。

了解。

じやあ確認。優希と千秋が来る。

そうしたら、俺が優希に話しかける。

いつも通りにね。

わかつてるよ。

渚が話してる間に、私はお菓子を用意する。

僕はプレゼントを用意する。

私のサプライズ開始の合図で、優希、お誕生日おめ

でどう。

完璧だね。

大丈夫かな…あ、暗号は？

お菓子が命、プレゼントが馬でサプライズ開始がダ  
ンスでしょ？わかつたつて。

ドキドキするね…。

（お菓子を取り出して）千秋の命ゲット！

千秋、優希来る。他はそわそわしながら内緒話をし  
始まる。

優希！げ、元気？

え？え…うん元気だよ？

（渚に）もつと普通に！

（葵に）普通じやん！

ちょ、ちょっと待つて葵！

なに？

無い。

何が？

命だよ！

命が無い？！

誰の？

千秋の命！もらい忘れてた！

え？千秋殺されるの？

（千秋に）早く命頂戴！

嫌だよ！

何で？

千秋に伝えてないじやん。

あ、そうか。

命っていうのは…もういいや。勝手に奪ちやつて。

おつけ！。

そんなノリ軽いの！？

命カバンの中にあるよね？

無いよ？

千秋

汐音  
(お菓子をまとめた袋を見せて) 全員の命手に入れま  
したく!

千秋

頭おかしくなつた? !  
薰は大丈夫?

千秋

命はちゃんと渡したよ。  
じやあ大丈夫だね。

千秋

幸せは?  
大丈夫なの? !

千秋

渚の幸せが大きすぎて入りきらないんだけど...  
じやあ渚の幸せは後回しでいいや。

千秋

あ! 私も千秋から幸せもらい忘れてた!  
え? !

千秋

(千秋に) 千秋の幸せどこにあるの?  
知らないよ!

千秋

うーん: でももう時間ないし: 千秋の幸せは諦めよ  
うか。

千秋

じやあ幸せは: いつでも準備オッケーだよ。

千秋

え?: 今から何するの? ねえ!  
ダンス!

千秋

え?:  
せーのつ!

汐音はお菓子、薰はプレゼントを優希の見えるところに出し、渚は4人(葵、薰、汐音、千秋)のところに移動する。千秋は一人で踊っている。葵が次のセ

リフの途中で千秋を止める。

優希! お誕生日おめでとう! (葵、薰、汐音、渚)

...ビックリしたあ! ありがとう!

喜んでもらえてよかつた!

おめでと優希。

おめでとう!

とりあえず乾杯しようつか。

じゃあ、今日の主役優希! 乾杯のあいさつをどう

ぞ!

えー...じやあカンパ:

(被せて) はいカンパ!

乾杯!! (優希は納得いかない感じ)

全員

みんなでお菓子を開けて食べ始める。

千秋紅芋タルトじやん。沖縄行つたの?

あ、そうそう。千秋は行つてないけど、女①先生か  
らのお土産! みんなで食べてねだつて!

早く言えよ。

忘れてた。先週のお土産だし。

千秋女①先生と仲良過ぎじやない?

へっそうちかな。え、渚のお菓子手作り? !

そう。最近はまつてるブラウニー。

超美味しい!

よかつた。

あとでレシピ教えて。



うね？

汐音 好き勝手やるやつがいるからどんどん厳しくなったんでしょ。

渚 どういう気持ちで言ってる？

汐音 私でも進級できたから校則なんて気にしなくていいんだよ。

千秋 凄い説得力。

汐音 だつて推薦で大学行きたい人いないでしょ？

渚 俺はあわよくば推薦つて思つてるけど。

優希 ジやあ渚はスカート丈我慢しろよ。

千秋 だな。去年の夏にタイムスリップしてスカート切り

葵 そうな自分止めてくるわ。

優希 行つてらっしゃい。

汐音 推薦関係ないにしても汐音はやりすぎ。

渚 私友達からも怒られるの？

優希 怒つてないけど、意味がわからないんだもん。

千秋 このファッショソセンスの？

葵 先生に注意されてまでやり続けるのが。何か理由と

千秋 かるの？

薰 強い意志とかあるんだと思つてた。

汐音 意志は無いけど止められないの今更。みんなこれで

千秋 慣れちやつてるし変わつたら嫌かなつて。全然いいよ。

葵 マジ？ 誰も求めてないから大丈夫。

渚 じやあ真面目になつてみようかな…。

千秋 なんか心を入れ替えてハゲにするみたいなこと言つ

てなかつた？

渚 は？どういうこと？

汐音 せめて髪だけちゃんとしないと坊主にするつて先生に言われたの。

千秋 それで一時期黒髪で来てたんだね。坊主はもう一生やりたくないもん。

渚 ん？坊主だつたことあるの？

千秋 うん。

渚 え！衝撃の事実！

千秋 小4くらいまで坊主だつたよな。

渚 ちよつ！それ黒歴史だから！

千秋 そこ二人小学校同じか。

渚 そうだけど…。

千秋 写真とか無いの？

渚 あーあるかな…。

千秋 何で持つてるの？！

渚 え、普通に似合つてるじやん。

千秋 ありがとう？

渚 へー：昔はハゲだつたんだ…。

千秋 止めてその言い方。ハゲじやないから。

渚 みんな笑うなよ！（笑）

千秋 渚しか笑つてないよ。

渚 二人つて同じ小学校な感じしないよね。

千秋 そーカ？

渚 渚は優希とセットな感じがする。

渚 同じクラスなことが多いからかな。

渚 薫は葵とセットだよねー！

渚 そりやそうでしょ。

幼稚園から仲良しだもんねー。  
幼馴染だもんねー。

ねー！

薰今日は元気だね。

え、そうかな？

先週元気なくて心配だったからよかつた。

ごめんね。

え：じゃあ千秋って汐音とセツトなの？！なんか嫌

こつちだつて嫌だわ。

いいじやん。校則違反コンビ。

なんで千秋がこんな校則違反音楽バカと！

は？音楽は立派な将来の夢ですけどー？

そういえば千秋進路調査書提出できたの？

うん！結局就職つて書いた。

何の仕事するの？

調べてはみたんだけどちゃんと決まって無くて…。

何が候補？

かっこいいなつて思つたのは、消防士。

いいじやん！私消防士つて好きなんだよねー。

聞いてないけど。

うるさい。

俺もすごい良いと思う！

そうかな？実はね、親が2人とも消防士なんだ。

何で最初から消防士を目指さなかつたの？

だつてやつぱり危険じやん？

そうだよね。ご両親もケガされたことあるの？  
うん。（深刻そうな感じ）あ、先週の電話とかも…。

何でも青春ラブストーリーになる音楽の？  
うん、ちょっとね。

え？！ケガ？！ごめん！すぐ電話出ればよかつたのに…。

あ、全然深刻な感じじゃない。ふざけて腕相撲してたら骨折したらしい。

変な空氣出すなよ。

さすが千秋の親。

うん。千秋もバカだなつと思つたけど、でも仕事してるとこすごいからいいんだ。今までちゃんと考

えてなかつたけど、消防士になるためなら、頑張れるかなつて。

千秋ならできるよ。

葵！

あ、ご両親消防士同士で結婚したんでしょ？なんか

すごい物語ありそう。

そうそう。自分の親の話だからちょっと恥ずかしい

んだけど、映画撮れそなくらい。

（被せて）ウウウウウ火災発生火災発生！

え？もう始まってる？

ちよつと渚、汐音こつち来て。

なに？（渚倒されて、汐音は渚を抱える

ん？：だ、誰か！この中にお医者さんはいらっしゃいませんか！

いや医者呼んだら話始まらないから。

話知らない人を再現に巻き込まないで。

まあいいや。

葵千渚

よくねえだろ。(才) 台ある

中華書局影印

今何を見せられてるの？

ドタバタしていく渚。が机にぶつかる。

音響。バツチが落ちる音。照明。

薰以外ストモ

え？（様子がおかしくなり始める）

大丈夫？（笑）

諸千秋 汐音

塾の先生のバツチだ。

うそ……うそうそうそ！嫌だ！嫌だ！

嫌だ！いや！いやいやいや！いやあああああ！（過呼）

あ、渚！今日女①先生しかいないから！下にいると  
思う！

【照明暗転。音響。】

[。轉明照]

葵、優希、汐音、渚がいる。最初は沈黙している。

薰：大丈夫かな？  
学校は来てたよね？

葵なんか聞いてないの？

かつたらしい。

元気なかつたね。なんか関係あるのかな?

おなじく、おまかせして貰ひた。」

…今日来るのかな

二 稲戸がいてみると、て語ってたけれど……  
づけるために出来る——どんなハかな?

たからそゝとこひいて語たてたじやん  
た?

そうか… でも：あ、バイオリン弾く？ 今日持つて  
きてるし！

それを言つたら私たちどれだけメチャクチャしてき  
てるの。

先生が来ないのをいいことにね。

まあ休憩室だし。でもさすがにバイオリン演奏した  
らアウトだろ。

だな。

私たちはいつも通りでいいよ。

なんか落ち着かないな…。葵！なんか面白い話とか  
無い？

：男①先生って階段の上り下りあんまりしないじゃ  
んか。

うん？

昔雪かきしてたら屋根から落ちて、ケガしたんだっ  
て。

でもあの渋い感じで屋根から落ちるってさ。

不謹慎だろ。

うん。そうだね。先生ごめん。

珍しく何かあるのかと思つたら…。

そういうなら汐音がなんか話せばいいじやん！

廊下から千秋の声が聞こえてくる。

千秋

その時千秋はやめといたほうがいいって言つたんだ  
けどね、やめなかつたの。だからもう仕方ないから  
飛び蹴りしたの。おりやああああつて。うん。

あいつ何一人で話してるんだよ。

渚

葵

汐音

千秋

千秋、薰が来る。優希と汐音が薰に話しかけるかけ  
ないみたいな話をしてる。

薰？！

やつほー。

やつほ。

久しぶり。

久しぶりって程でもないけどな。

：そうだね。

か、薰。

（被せて。優希の前にストップって手を出して）やつ  
ぱり私が。

：だ、大丈夫元気？

おい汐音！

（被せて。渚の前にストップって手を出して）大丈夫

だから。

手が近いな！

あのー、困つてることとかあつたら何でも言つて！

だからそういうことは！

（被せて。渚の前にストップって手を出して）分かつ  
てる分かつてる。

（手が顔に）当たつて！

ふふつ。大丈夫：じやないけどなんかみんなと会つ

たらなんか：安心した。

何があつたかは分からなければ、私たちはい

葵

薰

渚

汐音

渚

汐音

渚

優希

汐音

渚

薰

葵

渚

千秋

薰

渚

つでも薰の味方だから。

うん。

うん。

薰千秋 うん。  
来てよかつたでしょ？  
：そうだね。ありがとう…。

薰千秋

沈默

沈默

やつぱり！みんなに聞いてほしい。  
うん？

葵 薦

もつと早くみんなに相談してればよかったです……

はそのくらい。塾の帰りにね、いつも、後ろに、だ、

語がかいるよシカ...気かして  
それつて...ストーカーつてこと?

うん。そうだよね。最初は、気のせいだと思つ

家の近くは明かりがない真っ暗な道があつて、一週間前に、そこで何となく、ほんと

に何となく後ろをちょっと見たの。そしたら、後ろに、誰か、誰か、白雲みたいに二つ、三つ、

語がが幽靈みたいに立ってた！暗くて

のに、気づいたら後ろにいた、だから、  
（薰）泡きつ（一）（二）（三）

千秋。(引きはがす)

怖かつたよね。ごめん薰。気づいてあげられなくて。元気がないつて思つて、生きちゃうやんこ

と聞けばよかつた。ごめんね。」

と会えるだけで心強かつたの。みんなはちゃんと助

先週具合悪くなつたのもストーカーと関係あるのか？

：お、追いつかれるんじやないかつて、もうだめかもしけないつてときに偶然近所の人の車が通りかかって、なにかが落ちる音がしたの。思わず振り返つちやつたんだけど、その人はもういなくなつていて結局顔は見えなかつた。：けど、落としたものがなんか見覚え合つて。先週あの、音を聞いたときに、思い出して…。

：塾の先生のバツチ？

うん。

：それでも間違いないの？

うん。うちの塾のバツチつて緑の光沢があるでしょ？車のライトで緑色に光つたような気がして…。

じやあストーカーは、先生なの？！

千秋！

今日…来て大丈夫なの？

そうじやん！どうしよう！千秋、無理やり連れてきちゃつたよね？どうしよう…ごめん。千秋バカ！もうどうしよ…。

昨日みんなで薫に声かけてみようつて話になつただろ。千秋だけのせいじゃない。

みんなもいるし。

：誰が…誰がそんなことしたの！？この塾に教師なんて3人しかいないじやん！私たちで探そうよ！

汐音！

：え？みんなは薫にこんな思いをさせたストーカー

見つけたくないの？…もういい私一人でも見つけてやるから。

待てよ。おい！

何？ 汐音が怒るのも分かるけど、

は？ 薫の気持ちも考えなよ。

：ごめん。

私：もう、こんな思いしたくない…。嫌だ。もう。  
じやあ早く探そう。

でも、探すってどうやつて？手がかりは？

それは…。薰から話を…。

（被せて）とりあえず今日の帰りは薰の家に電話して

迎えに来てもらおう。あと、ちゃんと親にも話そう。

私が一緒に話してもいいから。

ストーカー探すのに薰居たほうがいいよ。

薰の気持ちも考えなよ！

ううん。大丈夫。この部屋は…先生も来ないし。

ほんとに？ うん。ありがとう。…汐音もありがとう。

：ごめん。

先生は女①先生、女②先生、男①先生の三人でしょ。

そういうえば先週薰が倒れた時、女①先生呼びに行つ

たよ。

：そうだつたね。

そつから何もなかつたなら女①先生は違う？

それだけじや決められないよ。

千秋女①先生仲良しだけどそんなことしないよ！

わからないでしょそんなの。  
あんなに可愛くて優しいんだよ？

だから、

なん？二週間前？…やっぱり違うよ。二週間前って女

①先生塾休んで沖縄行つてた。

それが嘘つて可能性もあるよ。

千秋お土産もらつたし、みんなで食べたじやん。紅

芋タルト。

確かに…。

写真も見せてもらつた。

あ、俺も見た。

間違いないの？

うん。

じやあ、女①先生はなし、だね。

二人のどつちか…。うーん二人ともそんなことやる

とは思えないけど…。

あれ？薰、バツチが落ちる音がして振り返つたとき、

もう誰もいなかつたんだよね？

逃げていつたんだと思う…。走つていく音がした。

音？

確か：コツコツコツつて…。

ヒールの音？

そうかもしねない…。

じやあ、足速いよね？

う、うん。

ヒールでそんだけ走るつて…かなりだよな。

あつ！

ね？

千秋 葵

千秋

優希 汐音 沢音 千秋 葵

優希

優希

優希

優希

優希

優希

見つけたくないの？…もういい私一人でも見つけてやるから。

待てよ。おい！

何？ 汐音が怒るのも分かるけど、

は？ 薫の気持ちも考えなよ。

：ごめん。

私：もう、こんな思いしたくない…。嫌だ。もう。

じやあ早く探そう。

でも、探すってどうやつて？手がかりは？

それは…。薰から話を…。

（被せて）とりあえず今日の帰りは薰の家に電話して

迎えに来てもらおう。あと、ちゃんと親にも話そう。

私が一緒に話してもいいから。

ストーカー探すのに薰居たほうがいいよ。

薰の気持ちも考えなよ！

ううん。大丈夫。この部屋は…先生も来ないし。

ほんとに？ うん。ありがとう。…汐音もありがとう。

：ごめん。

先生は女①先生、女②先生、男①先生の三人でしょ。

そういうえば先週薰が倒れた時、女①先生呼びに行つ

たよ。

：そうだつたね。

そつから何もなかつたなら女①先生は違う？

それだけじや決められないよ。

千秋女①先生仲良しだけどそんなことしないよ！

見つけたくないの？…もういい私一人でも見つけてやるから。

待てよ。おい！

何？ 汐音が怒るのも分かるけど、

は？ 薫の気持ちも考えなよ。

：ごめん。

私：もう、こんな思いしたくない…。嫌だ。もう。

じやあ早く探そう。

でも、探すってどうやつて？手がかりは？

それは…。薰から話を…。

（被せて）とりあえず今日の帰りは薰の家に電話して

迎えに来てもらおう。あと、ちゃんと親にも話そう。

私が一緒に話してもいいから。

ストーカー探すのに薰居たほうがいいよ。

薰の気持ちも考えなよ！

ううん。大丈夫。この部屋は…先生も来ないし。

ほんとに？ うん。ありがとう。…汐音もありがとう。

：ごめん。

先生は女①先生、女②先生、男①先生の三人でしょ。

そういうえば先週薰が倒れた時、女①先生呼びに行つ

たよ。

：そうだつたね。

そつから何もなかつたなら女①先生は違う？

それだけじや決められないよ。

千秋女①先生仲良しだけどそんなことしないよ！

わからいでしょそんなの。

あんなに可愛くて優しいんだよ？

だから、

なん？二週間前？…やっぱり違うよ。二週間前って女

①先生塾休んで沖縄行つてた。

それが嘘つて可能性もあるよ。

千秋お土産もらつたし、みんなで食べたじやん。紅

芋タルト。

確かに…。

写真も見せてもらつた。

あ、俺も見た。

間違いないの？

うん。

じやあ、女①先生はなし、だね。

二人のどつちか…。うーん二人ともそんなことやる

とは思えないけど…。

あれ？薰、バツチが落ちる音がして振り返つたとき、

もう誰もいなかつたんだよね？

逃げていつたんだと思う…。走つていく音がした。

音？

確か：コツコツコツつて…。

ヒールの音？

そうかもしねない…。

じやあ、足速いよね？

う、うん。

ヒールでそんだけ走るつて…かなりだよな。

あつ！

ね？



【音響止める。照明転換】

この場面は葵の自問自答なので、葵は他キャストのセリフも一緒に言う。セリフが終了したキャストからはける。

葵

みんなって：男なの？女なの？制服は全員ズボンだし…え？私たちは全員男なの？でも夏にはスカートになるって：どうということ？：ということは：ねえ薰！って男なの？確かに髪は短いけど：でも自分のこと私って言うし、性格だつて女の子みたいにおとなしいじやん。

（ストモやめる）葵は何を言つてるの？

だから薰は男なのか女のかつて…。でも女の子なのに制服がズボンつて…。

私の制服はスカートじゃないとダメなの？

ダメじやないよね。：ねえ千秋。その制服でその髪型なの？女？なんだよね？でも将来は消防士になるつて…。男か女かわからぬいよ？

私は消防士になつたらダメなの？

それは男の人人がする仕事でしょ？でも千秋は女の子？だしまずいんじや…。

葵  
千秋

葵 濑 渚

：何なんだろうね。あとは：汐音！汐音は女なのかな？化粧とかもしてるし：そうだよね。え、でも昔坊主だったって。じやあ男なの：か。女の子が坊主なわけないもんね！

：坊主にしたらダメな人なんていいるの？  
そんな人：いないよね。優希…。優希は男の子…？  
自分のこと僕って言うし、持つてるものだつて…あ、アイテープ？してた。ねえ、化粧って女性がするものじやないの？

ねえ、葵…。（カタカナは片言で）さつきから言つて、オトコ…つて何？オンナつて何？ジヨセイとかダンシつて何の話をしてるの？

そうだよね。だつてここには男とか女とか無いから。だけど、この世界は私だけのものでしかない。：私がだけが変わつても、周りのみんなは変わらない。

優希

葵 汐音

【 照明切り替え。】

キャストはスカートに履き替える。

私たちちは同じ女子校に通う仲良し六人組！毎週金曜日に塾の休憩室でたわいもない会話をするごく普通の毎日を過ごしていた。でもある時、薰が言った。事に専念したいつて：なんでそんなこと言つたりす

葵





葵 薫 葵 薫 葵 薫 葵

あれ？…ねえ薰！薰が振り返った時もうストーカー  
はいなかつたんだよね？  
うん。

じやあ…足速いよね。  
うん！

：男①先生って昔足ヶガしてから階段もきついんじ  
や…。  
：あ。…嘘なんじやない？  
あれは、演技とかじやできないとと思う。  
それは…。  
じやあストーカーは男①先生じやなくて…女②先生  
つてこと？

閉幕。

【音響。ヒールの足音。照明転換】  
全員入り口の方を振り返る。

(開幕時と同じ立ち位置、照明、音響)